

令和8年度（数学C）シラバス

教 科	数 学	科 目	数学C		
単 位 数	1	学 年	2	類 型	理 系
教 科 書	高等学校 数学C（数研出版）		副教材	クリアー 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）	
学習目標	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期		
2 学期		
3 学期	第1章 平面上のベクトル 第2章 空間のベクトル 第3章 複素数平面	平面上のベクトルについて、その意味や性質を理解できるようにする。成分表示を取り扱い、ベクトルとその演算、内積の意味や、基本的な性質について理解させ、平面図形の性質の考察に内積を活用できるようにする。 空間座標の概念を導入し、平面上のベクトルの考えを空間に拡張して空間ベクトルを理解できるようにする。 内積や位置ベクトル、ベクトル方程式などの平面上のベクトルの考えを空間に拡張して空間ベクトルを理解できるようにする。 複素数平面と複素数の極形式、演算の図形的な意味を理解させ、複素数の積の拡張としてド・モアブルの定理を活用できるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	数学Cにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・定期考査 ・補習テスト
思考・判断・表現	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察できる。 また、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察できる。	・定期考査 ・発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・授業に取り組む態度 ・授業中の発言 ・ノートや課題等における記述 ・自己評価